

ゼミ生によるゼミ紹介

椎木ゼミ

ゼミテーマ：社会経済と歴史を通して、ライフデザインと問題解決能力を追究する

《先生の紹介》

氏名：椎木哲太郎

プロフィール：

経済や政治について関心が深い。経済学から近現代史、社会経済政策、国際公共政策、政治学、多摩学まで、幅広い研究を行っている。多摩大学開学以来、100人を超える多くのゼミ生、優秀な先輩たちを輩出している。

先生の性格：

ゼミ生思いでとても優しい。温厚な人柄。好奇心旺盛。

先生の口癖：

「広い視野、理念、本質、構造的、……」「僕はねー。」

ゼミの活動内容

(3・4年)

ゼミ生がいくつかの経済や政治にかかわる問題に取り組み、学生なりの問題解決の方法を議論しています。ときには商品を開発し、実際に販売して楽しみながら経済の仕組みを学んでいます。昨年の多摩祭ではキャンドル制作実演販売を行い、大変好評で即売しました。今年ももっと皆さんに満足して頂くよう、みんなでアイデアを持ち寄ってプロジェクトを進めています。

最近では「食の安全性」など、一つのテーマを決めて全員で研究・発表しています。

(2年)

経済、特にマクロ経済理論を中心に学び、経済思想史と表裏の関係にある政治思想史とを並行して学ぶことで、世界の経済や政治がどのようなメカニズムで動いているのかについて理解を深めています。

アピールポイント

最近の話題・ニュースを経済学・政治学や歴史の視点から分析することで、世の中の動きについて理解を深めることができます。

学生に対して真摯に向き合っておられる先生で、豊富な知識を有している方なので、主体性を持って取り組みれば、必ずや自身の知的探究心を満たしてくれるものと思います。